

保育計画成果報告書

法人	社会福祉法人 多加良浦学園
施設名	御田クローバーこども園
報告者	中村 佳嗣 (園長)
住所	愛知県名古屋市中村区岩塚4丁目10番地1
	☎ 052-412-5123 E-mail mita.clover@outlook.jp

○タイトル (保育計画)

「響け きねこさ太鼓 届け みんなの心に」

○主な助成備品

長胴太鼓一式、平太鼓一式 (6セット)

1. 保育計画策定の目的

「心身ともにたくましく、思いやりのある子ども」を育てるためには、年々増加傾向にある発達障がい疑いがある子ども達でも参加できる和太鼓を利用した活動は効果的である。和太鼓の数を増やすことで子ども達の「もっとやりたい」という思いをかなえ、平安時代から地元で伝わる「きねこさ太鼓」を学ばせたい。こうした活動が子ども達と地域を結ぶきっかけとなり、ひいては、地域から愛される園づくりにもつながると考えた。

2. 具体的な実施内容

(1) 「和太鼓を使用した組体操」対象 5歳児

運動会の組体操で、和太鼓の音の合図で入場し技を披露した。年長児は事前に和太鼓の演奏を経験し太鼓の胸に響く音を知ったことで、かっこよく入場できることに喜んでいった。また、一つ一つの技を行う際に和太鼓の合図で移動し、機敏さが際立った。保護者も年長児の組体操を見ながら感動し涙を見せる場面があり、思い出に残る演技となった。



【5歳児 組体操 「扇」】



【3歳児 遊戯】



【4歳児 バルーン】

(2) 「和太鼓を使用した入場退場」対象 3歳児、4歳児

入場、退場シーンで和太鼓を使用した。練習では和太鼓の合図で移動の練習をし、かけ声とともに走る、止まるなどの動きを楽しんだ。4歳児は、演技後、全力を出しあったことを喜びあった。



(3)「和太鼓に合わせたリズム打ちとリトミック」対象 1歳児

1歳児が担任の叩く太鼓の音を聞き一緒に真似をしながらリズム打ちをした。大きなバチを小さな手でしっかり握り、曲に合わせて太鼓を叩く姿が可愛らしく、リズム遊びを担当と一緒に楽しんだ。そのあと、太鼓の音に合わせてリトミックで体を動かした。



【和太鼓に初めて触れて音を感じる】



【バチを使って和太鼓を叩き、音の違いを感じる】



【和太鼓の合図でリトミック】

(4)「曲にあわせて」対象 2歳児

普段聞きなれている親しみやすい曲に合わせて、自由に演奏した。大好きなアンパンマンマーチ、となりのトトロのさんぽ、ミッキーマウスマーチなどの曲に合わせて、太鼓の響きを体験することができた。



【和太鼓を楽しむ2歳児】

(5)「夏まつりでの開幕太鼓」対象 5歳児

5歳児全員で和太鼓演奏をし、夏まつりのオープニングを盛り上げ、その後、和太鼓に合わせてお神輿の練り歩きと盆踊りを行った。苦手な子も参加しやすいようにリズムを覚えやすい3曲を選びクラス全員で太鼓うちを行った。声をかけあうテンポのよいリズムに太鼓の数が増えたことで迫力が増した演奏に、4歳児や3歳児も身をのりだして聞き入っていた。



【祭り法被を着て夏祭りを盛り上げる5歳児】

(6)「きねこさ太鼓」で地域とつながる 対象 3～5歳児

「きねこさ祭り」は、毎年旧暦正月十七日に行われる地元、岩塚七所社の祭礼で、尾張三大奇祭に数えられている。昨年「きねこさ祭」に参加した際、伝統的な祭りで披露される「きねこさ太鼓」を見学した。地域からの「きねこさ太鼓」を継承してほしいという願いも聞き、地域の方（厄年会）を講師に招き、3歳～5歳児に「きねこさ太鼓」のうち方を教えてもらった。

最初は戸惑いがちだった5歳児は、「つい・こら・てん」というかけ声を覚えると、みんなで声をかけあいながら伝統的なきねこさ太鼓のリズムを覚えていった。



【講師の太鼓に合わせて練習する5歳児】

憧れの和太鼓に初挑戦した4歳児は、真剣に叩き方とリズムを覚え、和太鼓の音色とバチから伝わる音の響きを実感できたようだった。何度か繰り返し叩くうちに音がそろうようになった。



【初めての和太鼓への挑戦する4歳児】

4歳・5歳児の太鼓指導を見ている間、和太鼓に興味津々の3歳児は和太鼓を叩くことにワクワクが止まらない様子だった。自分たちの時間になると、4歳児同様に真剣な表情で太鼓に向き合っていた。見学している間にリズムを覚えていたようで、自信をもって叩く姿に驚かされた。地域の方に指導していただいたおかげで、伝統あるリズムを刻むことができ、さらにやってみたいという子ども達の気持ちを高めることができた。



【和太鼓の演奏に夢中になる3歳児】

(7) 世代間交流会で「きねこさ太鼓」を披露 対象5歳児

コロナ禍でできなかった世代間交流会に子ども達の祖父母を招いて5歳児が「きねこさ太鼓」を披露した。かつて実際に「きねこさ祭」に携わっていた方も見え、子ども達の真剣な演技や懐かしさに感激していただいた。この活動は好評で、保護者の強い要望を受け、保育参観でも発表することとなった。



【かけ声をかけ、心をあわせて演奏する5歳児】

《保護者からの太鼓の感想》

- ・世代間交流に参加させていただき、感激でした。年少さん年中さんはさることながら、年長さんの「きねこさ太鼓」はすごく揃っていて、皆一生懸命練習したのだと思います。孫がいたせいもありますがひきしまった姿に感激しました。
- ・上手に揃っていて、さすが年長さん！迫力がありません。
- ・伝えていただき、大切なものを形にして見せていただき、ありがとうございました。
- ・伝統的な太鼓を伝えてもらえて、子ども達によい機会になったと思います。

3. その成果と評価

- ・太鼓の音やリズムにあわせて活動することで、機敏な動きや変化のある運動に取り組み、すずんで体を動かすことができた。
- ・太鼓の音に親しみリズムに和太鼓を取り入れたことでリズムにあわせ、心地よい運動遊びを楽しむことができた。
- ・大きく体を動かす和太鼓の演奏は、体幹を鍛える効果があった。バチの構え方や叩く時の力の入れ方など活動を通じて腹筋や背筋の筋力をつけることにもつながった。
- ・和太鼓にあったかけ声やポーズを一緒に考えることで見た目の美しさを表現しようとした。
- ・大きな声でかけ声を言うことで爽快感を味わい、その気持ちを友達と共有することができた。
- ・普段経験することが少ない1～3歳児も5歳児の和太鼓演奏を見る機会が何回もあり、興味につながり和太鼓を丁寧に扱う姿がみられた。
- ・和太鼓の演奏を通して、クラス全員が一致団結して声をかけ合い、励ましあい、粘り強く練習に取り組むことができた。
- ・「きねこさ太鼓」を通じた活動は、子ども達のみならず保護者にも地域の伝統文化の一端を伝えるよい機会となった。

4. 今後の課題と展望

- ・祖父母の前での「きねこさ太鼓」の演奏は、子ども達にとって自信を深める場となった。保護者にとどまらず地域の方にも発表できる場を模索していきたい。
- ・乳児がさらに和太鼓に親しめるような活動を工夫したい。

以上